

音 楽 (M u s i c)		1 年 ・ 半 期 ・ 1 単 位 ・ 必 修 5 学 科 共 通 担 当 荒 巻 徳 代	
〔準学士課程(本科 1・5 年) 学習教育目標 (1)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕	
〔講義の目的〕 「子供から大人への過渡期」(青年期)に美に対する感性を高めるとともに、芸術を愛好する心を育て、豊かな情操を養う。			
〔講義の概要〕 さまざまな曲(校歌を含む)を通して、歌う楽しさを味わいながら発声の基本を身につけさせる。オペラやミュージカル鑑賞で、舞台芸術の素晴らしさを味わう。			
〔履修上の留意点〕 小・中学校で学んだ楽典(音楽理論)を理解するだけではなく、積極的に歌うこと、楽器を演奏することに生かし、楽しく取り組んでほしい。			
〔到達目標〕 ・ 奈良高専生として、誇りを持って校歌を歌えるようになること。 ・ 演奏を通じて、積極的に自己表現をすること。			
〔評価方法〕 歌唱テスト、定期試験、自由曲演奏テスト、授業態度、提出物など合わせて総合評価する。			
〔教 科 書〕 『音楽 I Tutti』(教育出版) 〔補助教材・参考書〕 楽譜プリントを配布(ギターの簡易コード表、ハ長調のギター弾き語りのための楽譜)			
〔関連科目〕			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	自己紹介 授業の概要説明	発声練習の必要性を理解する。 教科書のすでに知っている曲をできるだけ多く歌う。	
第2週	発声練習と歌唱練習	発声練習と歌唱練習（校歌と二部合唱にも取り組む）	
第3週	同上	同上	
第4週	楽典の復習	楽典の復習と音名・音程・和音(コードネーム)を理解する。	
第5週	同上	同上	
第6週	歌唱テスト	課題曲による歌唱テスト	
第7週	楽典のまとめ	楽典の問題プリントで中間テストに備える。	
第8週	鑑賞	DVDで音楽映画、オペラ、ミュージカルの鑑賞	
第9週	同上	同上	
第10週	ギター演奏	ギターのやさしいコードをマスターし、弾き語りを練習。 自由曲演奏のテストのために自由な練習時間を設ける。	
第11週	同上	同上	
第12週	同上	同上	
第13週	同上	同上	
第14週	自由曲による 演奏テスト	歌唱ならパートを分け、楽器の場合もパートあるいは 楽器を別々に担当しなければならない。	
第15週	同上	同上	
定期試験			

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)